

SD 動画・静止画ファイル装置
MF-941SD
SD MULTI FILE
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧 (AC100V 50/60Hz) 以外では使用しないでください。
- ・AC 電源 (室内電源) の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかからせないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱くと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかると危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5. その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人がかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1. 操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

2. 機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3. フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先.....ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェック.....	2
1. 構 成.....	2
2. 機能チェック接続図.....	2
3. POWER ON までの手順.....	2
4. 基本動作チェック.....	3
3. 各部の名称と働き.....	4
1. 本体正面.....	4
2. 本体背面.....	6
4. 操作方法.....	7
1. 基本操作.....	7
(1)本体の起動.....	7
(2)静止画、音声の記録.....	7
(3)動画、音声の記録.....	7
(4)送 出.....	8
(5)HDDへバックアップ.....	8
(6)メニュー操作.....	8
2. メニューツリー.....	9
3. メニュー詳細.....	10
(1)メインメニュー.....	10
(2)STW(STILL WRITE).....	10
(3)MVW(MOVIE WRITE).....	11
(4)EDT(EDIT)「IN/OUT」.....	11
(5)EDT(EDIT)「REPEAT」.....	12
(6)POS(POSITION).....	12
(7)PTN(PATTERN).....	13
(8)BAK(HDD BACK UP).....	13
(9)CMD(COMMAND)「CPY(COPY)」.....	14
(10)CMD(COMMAND)「DEL(DELETE)」.....	14
(11)CMD(COMMAND)「FMT(FORMAT)」.....	15
(12)NET(NETWORK).....	15
(13)CNF(CONFIGURATION)「SYS(SYSTEM)」.....	16
(14)CNF(CONFIGURATION)「NET(NETWORK)」.....	16
(15)CNF(CONFIGURATION)「GEN(GENLOCK TIMING)」.....	17
(16)CNF(CONFIGURATION)「RD(READ MODE)」.....	17

4. 基本操作例.....	18
5. FTP 転送.....	20
1. 概要.....	20
2. 接続.....	20
3. ネットワーク設定.....	20
4. ネットワーク接続の確認.....	21
5. 転送ファイル仕様.....	21
6. FTP 転送操作手順(例).....	22
6. 外部インターフェース.....	24
1. GPI/TALLY コネクタ.....	24
2. RS-422 コネクタ.....	26
3. 10/100BASE コネクタ.....	26
7. トラブルシューティング.....	27
8. 保守・点検.....	28
1. 電源ヒューズの交換方法.....	28
9. 仕様.....	29
1. 定格.....	29
2. 性能.....	30
10. 外形寸法図.....	31

1. 概説

スタンダードファイル装置MF-941SDは音声つき動画や静止画を記録、再生できる小型軽量のファイル装置です。記録はHDDに記録されますが再生は半導体メモリから送出され長時間の連続運転を考慮したハイブリッド方式です。ファイルの読み出しは、ボタン一つで簡単に行えます。ファイルの書き込み、コピー、削除やコンフィグレーションは、前面のメニュー画面で簡単に操作できます。

ファイルのバックアップは、内蔵HDDに保存され起動時に自動で半導体メモリに読み込みます。HDDは起動時と素材書き込み時のみ動作させ他は動作を止めていますので長時間運用が可能です。

《特長》

- 半導体メモリとHDDの組み合わせで安定した長時間連続運転ができます。
- フィル、キー信号とオーディオ信号の対で動画、静止画を12ページファイルできます。
- 動画の記録時間は合計約1分まで、音声の記録時間は合計約10分までできます。
- 表示位置調整ができます。
- イーサネットで素材取り込みができます。
- 各種のリモコンに対応できます。(RS422、GPI制御)
- ファイルの読み出しはボタン一つで簡単に行えます。
- リピート再生ができます。
- フィル信号、キー信号ともに8bit非圧縮処理です。

2. 機能チェック

1. 構成

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	マルチファイル	MF-941SD	1 台	
2	電源ケーブル		2 本	
3	ヒューズ	4 A	6 本	
4	マウントビス	5 mm	4 本	
5	GPI/TALLY コネクタ	HDCB-37P(ヒロセ)	1 個	37pin
6	GPI/TALLY コネクタカバー	17JE-37H-1C(DDK)	1 個	
7	取扱説明書		1 部	本書

2. 機能チェック接続図

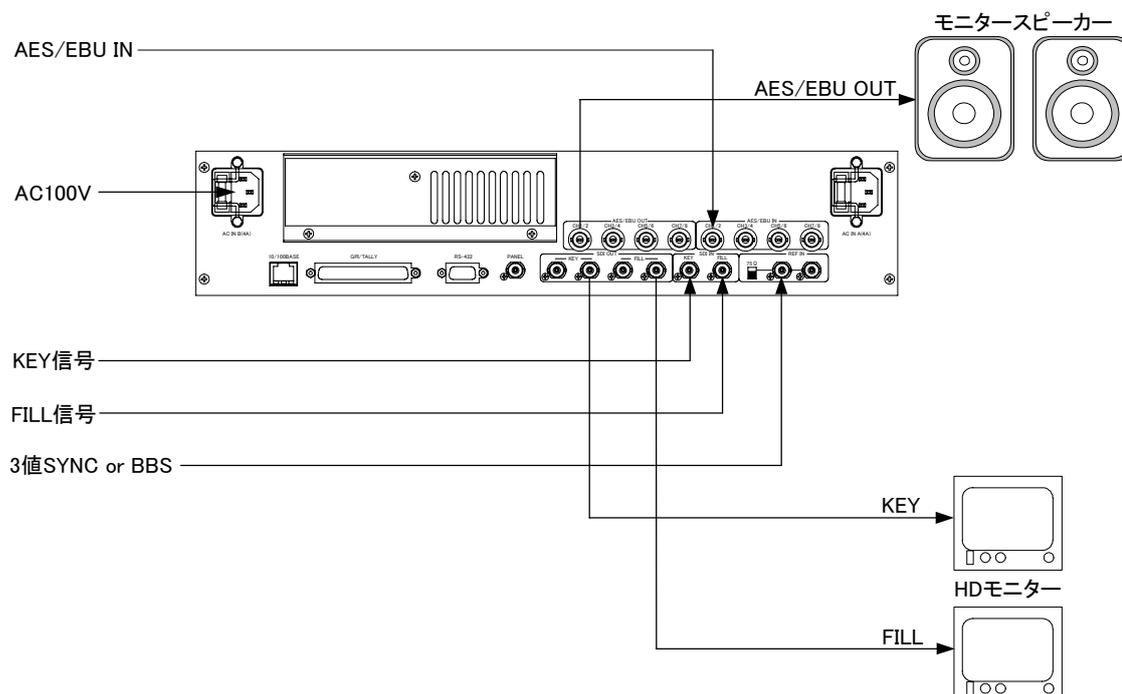


図2-1 接続例

3. POWER ON までの手順

- (1) 電源プラグをAC100Vのコンセントに挿入します。
- (2) REF INにBBS信号を入力します。75Ω 終端スイッチはON(75Ω側)にします。
- (3) REF INの信号に同期したFILL信号、KEY信号を各々FILL IN、KEY INに入力します。
- (4) REF INの信号に同期したAES/EBU信号をAES/EBU IN CH1/2に入力します。
- (5) FILL OUT、KEY OUTをD1モニタ等に接続します。
- (6) AES/EBU OUT CH1/2をAES/EBU AUDIOモニタ等に接続します。
- (7) 電源スイッチをONします。POWERランプが点灯し、本体ディスプレイに「LOADING」のメッセージと「カウントダウンの数値」が表示されます。

本体が立ち上がると前回終了時またはリードモード※の設定でボタンが点灯します。

※リードモードの詳細は「CNF(CONFIGURATION)」「RD(READ MODE)」「(P.17)を参照してください。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は「トラブルシューティング」(P.27)を参照してください。

● 1ページにFILLとKEYの動画と音声を記録し、再生します。

(1) 正面パネルのLOCKスイッチを下側(LOCK OFF)にし、ツマミと各ボタンを有効にします。

(2)  ボタンを押して1ページを選択します。

・動画と音声の記録

(3)  ボタンを押してメインメニューに入ります。

(4) ツマミを回して「MW(MOVIE WRITE)」を選択し  ボタンを押してライトモードに入ります。

(5) ツマミを回して「FKA(FILL+KEY+AUDIO)」を選択し  ボタンを押します。

 ボタンが点滅し記録待ち状態になります。

(6)  ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

記録中  ボタンは点灯し、終了すると消灯します。

・動画と音声の再生

(7)  ボタンを押します。記録された動画と音声が頭出しされます。

(8)  ボタンを押すと再生されます。再生中  ボタンは点灯します。

・HDDへバックアップ

(9)  ボタンを押してメインメニューに戻ります。

(10) ツマミを回して「BAK(HDD BACK UP)」を選択し  ボタンを押してバックアップモードに入ります。

(11) 「SURE?」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択し  ボタンを押すとバックアップを開始します。バックアップ中は「SAVING」のメッセージが表示されます。

(12) バックアップが終了すると「SAVE END」のメッセージが表示されます。

ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「SAVE END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

・本体電源の再起動

(13) 本体電源スイッチをOFFします。

(14) 本体電源スイッチをONします。POWERランプが点灯し、本体ディスプレイに「LOADING」のメッセージと「カウントダウンの数値」が表示されます。

本体が立ち上がると前回終了時またはリードモード※の設定でボタンが点灯します。

※リードモードの詳細は「CNF(CONFIGURATION)「RD(READ MODE)」」(P.17)を参照してください。

・再度動画と音声の再生

(15) 本体が立ち上がった後、 ボタンを押します。記録された動画と音声が頭出しされます。

(16)  ボタンを押すと再生されます。再生中  ボタンは点灯します。

3. 各部の名称と働き

1. 本体正面

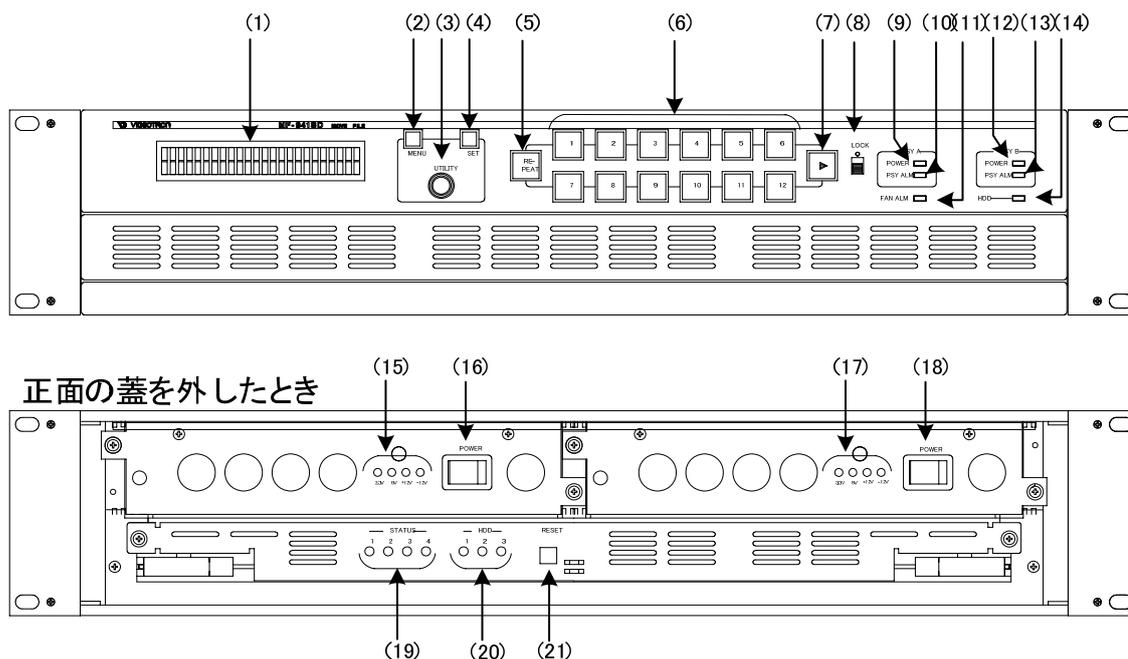


図3-1 本体正面

(1)本体ディスプレイ

操作メニューを表示します。

(2)MENUボタン

メニュー操作モードに入ります。各項目からのキャンセルに使用します。

(3)UTILITYツマミ

メニューの各項目の選択、設定に使用します。

(4)SETボタン

メニューの各項目の決定に使用します。

(5)REPEATボタン

動画、音声をリピート再生します。

(6) 1 ~ 12 ボタン

動画、静止画、音声を記録または再生するページを選択します。

(7) ▶ ボタン

(6)で選択したページの動画、音声を再生します。

ライトモード時※に記録待ち状態になり点滅し、ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

※「STW(STILL WRITE)」または「MVW(MOVIE WRITE)」P.10、P.11を参照してください。

(8)LOCKスイッチ

LOCK(上)側にすると正面パネルがLOCK状態になります。(①~⑦の機能を禁止します)

(9)POWERランプ(電源ユニットA)

電源ユニットA側のスイッチをONすると点灯します。A側のスイッチをONしても消灯している場合は電源ユニットの異常です。

(10)PSY ALMランプ(電源ユニットA)

電源ユニットA側のアラームランプです。A側の電源スイッチがOFFまたは電源に異常が生じると点滅します。PSY ALARMランプの点滅については、「トラブルシューティング」(P.27)を参照してください。

(11)FAN ALMランプ

ファンに異常が生じると点滅します。

FAN ALMランプの点滅については、「トラブルシューティング」(P.27)を参照してください。

(12)POWERランプ(電源ユニットB)

電源ユニットB側のスイッチをONすると点灯します。B側のスイッチをONしても消灯している場合は電源ユニットの異常です。

(13)PSY ALMランプ(電源ユニットB)

電源ユニットB側のアラームランプです。B側の電源スイッチがOFFまたは電源に異常が生じると点滅します。PSY ALARMランプの点滅については、「トラブルシューティング」(P.27)を参照してください。

(14)HDDランプ

内蔵のHDDがアクセス中に点灯します。

(15)POWERランプ(電源ユニットA)

電源ユニットA側のスイッチをONすると、4つ(+5V,+3.3V,+12V,-12V)点灯します。

A側のスイッチをONして、1つでも消灯している場合は電源ユニットの異常です。

(16)POWERスイッチ(電源ユニットA)

電源ユニットA側のON/OFFスイッチです。

(17)POWERランプ(電源ユニットB)

電源ユニットB側のスイッチをONすると、4つ(+5V,+3.3V,+12V,-12V)点灯します。

A側のスイッチをONして、1つでも消灯している場合は電源ユニットの異常です。

(18)POWERスイッチ(電源ユニットB)

電源ユニットB側のON/OFFスイッチです。

(19)STATUS LED

メンテナンス用です。

(20)HDD LED

内蔵のHDDがアクセス中に点灯します。

1.LUMI 2.CHROMA 3.KEY,AUDIOに対応しています。

(21)RESETスイッチ

CPUのリセットスイッチです。押すことにより本体プログラムを再起動します

2. 本体背面

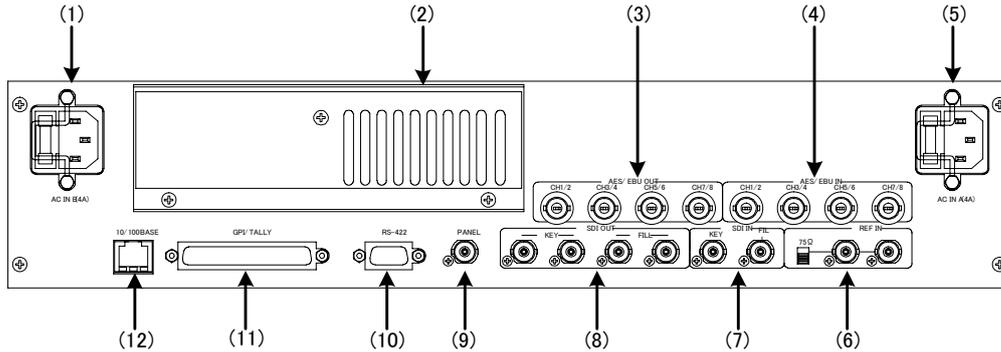


図3-2 本体背面

(1)AC IN(電源ユニットB)

電源ユニットB側の3端子のAC電源コネクタです。AC100Vのコンセントに付属の電源ケーブルを接続します。電源コネクタはヒューズホルダー付きです。出荷時は4Aのヒューズが実装されています。

(2)FAN吹き出し口

機内冷却用のファンの吹き出し口です。

(3)AES/EBU OUT

オーディオ CH1/2,CH3/4,CH5/6,CH7/8 の各出力端子です。

(4)AES/EBU IN

オーディオ CH1/2,CH3/4,CH5/6,CH7/8 の各入力端子です。

(5)AC IN(電源ユニットA)

電源ユニットA側の3端子のAC電源コネクタです。AC100Vのコンセントに付属の電源ケーブルを接続します。電源コネクタはヒューズホルダー付きです。出荷時は4Aのヒューズが実装されています。

(6)REF IN

同期信号の入力端子です。システムの3値SYNCまたはBBS信号を入力します。

3値SYNCまたはBBS信号を内部で判別し自動的に切り替えます。入力信号を他の機器へブリッジする場合は75ΩスイッチをOFF(下側)にします。ブリッジしない場合はON(上側)にします。

(7)SDI IN

KEY信号、FILL信号の各入力端子です。

(8)SDI OUT

KEY信号、FILL信号の各出力端子です。

(9)PANEL

現在未使用です。

(10)RS-422

編集機等での外部からの制御に使用します。

(11)GPI/TALLY

外部からの制御で、ページ選択、再生、記録、停止、等を行います。送出ページをタリー出力します。

動画、音声の再生、記録中をタリー出力します。本体の電源、またはファンに異常が生じるとタリー出力します。

詳細は、「GPI/TALLYコネクタ」(P.24)を参照してください。

(12)10/100BASE

ネットワークでのファイル転送に使用します。

4. 操作方法

1. 基本操作

(1) 本体の起動

1) 本体電源スイッチをONします。POWERランプが点灯し、本体ディスプレイに「LOADING」のメッセージと「カウントダウンの数値」が表示されます。

本体が立ち上がり前回終了時またはリードモード※の設定でボタンが点灯します。

※リードモードの詳細は「CNF (CONFIGURATION)「RD (READ MODE)」」(P.17)を参照してください。

(2) 静止画、音声の記録

1) 記録するページを ~ ボタンで選択します。

2) ボタンを押してメインメニューに入ります。

3) ツマミを回して「STW(STILL WRITE)」を選択し ボタンを押してライトモードに入ります。

4) ツマミを回して「記録するタイプ※1」を選択し ボタンを押します。

ボタンが点滅し記録待ち状態になります。

5) 4)で「AUDIO」を選択した場合は ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

記録中 ボタンは点灯し、終了すると消灯します。

「AUDIO」以外(静止画)を選択した場合は ボタンを押すと記録されます。

※1「F+K」: FILLとKEYの同時記録

「FIL」: FILLのみの記録

「KEY」: KEYのみの記録

「AUDIO」: AUDIOの記録

(3) 動画、音声の記録

1) 記録するページを ~ ボタンで選択します。

2) ボタンを押してメインメニューに入ります。

3) ツマミを回して「MVW(MOVIE WRITE)」を選択し ボタンを押してライトモードに入ります。

4) ツマミを回して「記録するタイプ※2」を選択し ボタンを押します。

ボタンが点滅し記録待ち状態になります。

5) ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

ボタンは記録中に点灯し、終了すると消灯します。

※2「FKA」: FILLとKEYとAUDIOの同時記録

「F+A」: FILLとAUDIOの同時記録

「KEY」: KEYのみの記録

「AUDIO」: AUDIOの記録

(4) 送 出

- 1) 送出するページを ~ ボタンで選択します。
動画または音声ファイルの場合は頭出しされます。
- 2) 選択したページが動画または音声ファイルの場合は ボタンを押すと再生されます。
 ボタンは再生中に点灯します。
- 3) リピート再生する場合は ボタンを押して点灯させます。

(5) HDDへバックアップ

- 1) ボタンを押してメインメニューに入ります。
- 2) ツマミを回して「BAK (HDD BACK UP)」を選択し ボタンを押してバックアップモードに入ります。
- 3) 「SURE?」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択し ボタンを押すとバックアップを開始します。バックアップ中は「SAVING」のメッセージが表示されます。
- 4) バックアップが終了すると「SAVE END」のメッセージが表示されます。
ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「SAVE END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

(6) メニュー操作

- 1) ボタンを押してメインメニューに入ります。
- 2) ツマミを回して設定メニューを選択し ボタンを押します。
設定項目メニューに移ります。
- 3) ツマミを回して設定項目を選択し ボタンを押します。
設定項目メニュー階層下の項目内容メニューに移ります。
- 4) ツマミを回して項目内容を選択し ボタンを押します。
データを設定し、設定項目メニューに戻ります。
設定を変更する必要がない場合は ボタンを押すと、元の設定のまま設定項目メニューに戻ります。
- 5) 3)、4)を繰り返します。
- 6) ボタンを押して階層を抜けます。

2. メニューツリー

MENU	MENU ボタンを押してメインメニューに入ります
STW (STILL WRITE)	静止画、音声の記録
F+K	FILLとKEYの同時記録
FIL	FILLのみの記録
KEY	KEYのみの記録
AUDIO	AUDIOの記録
MVW (MOVIE WRITE)	動画、音声の記録
FKA	FILLとKEYとAUDIOの同時記録
F+A	FILLとAUDIOの同時記録
KEY	KEYのみの記録
AUDIO	AUDIOの記録
EDT (EDIT)	再生のIN点/OUT点の設定、リピート再生の属性の設定
IN/OUT	IN点/OUT点の設定
INPOINT	IN点の設定
FKA	FILLとKEYとAUDIOのIN点を同時設定
F+A	FILLとAUDIOのIN点を同時設定
F+K	FILLとKEYのIN点を同時設定
F:0 K:0 A:0	IN点をフレーム単位で設定
OUTPOINT	OUT点の設定
FKA	FILLとKEYとAUDIOのOUT点を同時設定
F+A	FILLとAUDIOのOUT点を同時設定
F+K	FILLとKEYのOUT点を同時設定
F:0 K:0 A:0	OUT点をフレーム単位で設定
REPEAT	リピートの属性の設定 ※1
OFF	リピートの属性をOFFに設定
MODE1	リピートの属性をMODE1に設定
MODE2	リピートの属性をMODE2に設定
POS (POSITION)	FILL POSITION、KEY POSITIONの調整
FILL	FILL POSITIONの調整 (KEY POSITIONも同時に動く)
H:0 V:0	2ライン、2ドット毎のポジショニング
KEY	KEY POSITIONの調整
H:0 V:0	2ライン、2ドット毎のポジショニング
PTN (PATTERN)	内蔵パターンの記録
FUL (FULL)	FILL:フルフィールド75%カラーバー、KEY:横方向グラデーション
SPL (SPLIT)	FILL:スプリットフィールド75%カラーバー、KEY:縦方向グラデーション
GRD (GRADATION)	FILL:横方向黒・白グラデーション、KEY:横ドット1%/横ライン1%
MLT (MULTI)	FILL:マルチバースト、KEY:マルチバースト
BAK (HDD BACK UP)	全てのデータをHDDへバックアップ
SURE? YES/NO	「YES」を選択してバックアップの実行、デフォルトの設定は「NO」
CMD (COMMAND)	コピー、デリート、フォーマットの選択
CPY (COPY)	ページ間コピーの選択
FROM:1 TO:2 EXECUTE	例) 1ページのファイルを2ページへコピー
SURE? YES/NO	「YES」を選択してコピーの実行、デフォルトの設定は「NO」
DEL (DELETE)	ページ内ファイルの削除
ALL	ページ内全ファイルの削除
SURE? YES/NO	「YES」を選択して削除の実行、デフォルトの設定は「NO」
FIL	ページ内FILLファイルの削除
SURE? YES/NO	「YES」を選択して削除の実行、デフォルトの設定は「NO」
KEY	ページ内KEYファイルの削除
SURE? YES/NO	「YES」を選択して削除の実行、デフォルトの設定は「NO」
AUDIO	ページ内AUDIOファイルの削除
SURE? YES/NO	「YES」を選択して削除の実行、デフォルトの設定は「NO」
FMT (FORMAT)	フォーマットの選択
SURE? YES/NO	「YES」を選択してフォーマットの実行、デフォルトの設定は「NO」
NET (NETWORK)	ネットワークから画像ファイルを受信
EXECUTE	実行後、FTPコマンド待ちになる
CNF (CONFIGURATION)	システムの設定、ネットワークの設定、ゲンロックタイミングの調整
SYS (SYSTEM)	リモートチェンジ、ライトプロテクト、映像フォーマットの設定
RMT (REMOTE CHANGE)	リモートチェンジ入力のON/OFF
ON/OFF	
PRT (WRITE PROTECT)	「ON」で各ページへの記録とHDDへの保存を禁止
ON/OFF	
NET (NETWORK)	ネットワークの設定
IP (IP ADDRESS)	IPアドレスの設定
GW (GW ADDRESS)	GWアドレスの設定
BS (BASE)	BASEタイプの選択
AUTO/10BASE/100BASE	
GEN (GENLOCK TIMING)	ゲンロックタイミングの調整
H:0 V:0	1ライン、1ドット毎の調整
RD (READ MODE)	リードモードの設定
SEND MODE	電源起動時に読み出すページの設定
OFF/1~12	

※1 リピートの属性、モードについては、「EDT(EDIT)」「REPEAT」(P.12)を参照してください。

3. メニュー詳細

(1) メインメニュー

 ボタンを押してメインメニューに入ります。

ツマミを回して「モード」を選択し  ボタンを押し各モードに移ります。

本体ディスプレイ

→STW MWV EDT POS PTN BAK
CMD NET CNF

STW(STILL WRITE): 静止画、音声の記録をするモードです。

MWV(MOVIE WRITE): 動画、音声の記録をするモードです。

EDT(EDIT): 再生のIN点/OUT点の設定、リピート再生の属性の設定をするモードです。

POS(POSITION): FILL POSITION、KEY POSITIONの調整をするモードです。

PTN(PATTERN): 内蔵パターンの記録をするモードです。

BAK(HDD BACK UP): 全てのデータをHDDへバックアップするモードです。

CMD(COMMAND): コピー、デリート、フォーマットをするモードです。

NET(NETWORK): ネットワークから画像ファイルを受信するモードです。

CNF(CONFIGURATION): システムの設定、ネットワークの設定、ゲンロックタイミングの調整をするモードです。

(2) STW(STILL WRITE)

選択したページに静止画、音声の記録をするモードです。

メインメニューで「STW」を選択し  ボタンを押します。

本体ディスプレイ

STILL WRITE
→F+K FIL KEY AUDIO

F+K: 静止画のFILLとKEYを同時に記録します。

FIL: 静止画のFILLのみを記録します。

KEY: 静止画のKEYのみを記録します。

AUDIO: 音声を記録します。

1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し  ボタンを押すと選択した項目にアンダーバーが表示され

 ボタンが点滅し記録待ち状態になります。

2) 静止画の場合は点滅している  ボタンを押すと記録を終了します。

音声の場合は点滅している  ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

 ボタンは記録中点灯し、終了すると消灯します。

(3) MVW(MOVIE WRITE)

選択したページに動画、音声の記録をするモードです。

メインメニューで「MVW」を選択し SET ボタンを押します。

本体ディスプレイ

MOVIE WRITE →FKA F+A KEY AUDIO
--

FKA: 動画のFILLとKEYとAUDIOを同時に記録します。

F+A: 動画のFILLとAUDIOを同時に記録します。

KEY: 動画のKEYのみを記録します。

AUDIO: 音声を記録します。

- 1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し SET ボタンを押すと選択した項目にアンダーバーが表示され ボタンが点滅し記録待ち状態になります。
- 2) 点滅している ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。
 ボタンは記録中に点灯し、終了すると消灯します。

(4) EDT(EDIT)「IN/OUT」

選択したページの再生時のIN点/OUT点を設定するモードです。

メインメニューで「EDT」を選択し SET ボタンを押します。

・ツマミと SET ボタンで「IN/OUT」を決定します。

・ツマミと SET ボタンで「INPOINT」を決定します。

本体ディスプレイ

INPOINT →FKA F+A F+K F:0 K:0 A:0
--

FKA: FILLとKEYとAUDIOのIN点を同時に設定します。

F+A: FILLとAUDIOのIN点を同時に設定します。

F+K: FILLとKEYのIN点を同時に設定します。

IN点はフレーム単位で設定できます。

- 1) ツマミを回してメニュー上段の項目「FKA,F+A,F+K」を選択し SET ボタンを押します。
- 2) 「FKA」を選択した場合は「FKA」の文字にアンダーバーが表示され、ツマミを回すとFILLとKEYとAUDIOのIN点を同時に設定でき、 SET ボタンを押すと決定されます。
同様に「F+A」を選択した場合はFILLとAUDIOのIN点を同時に設定でき、「F+K」を選択した場合はFILLとKEYのIN点を同時に設定できます。
- 3) FILL、KEY、AUDIOのIN点を個別に設定する場合はツマミを回してメニュー下段の項目「F:0,K:0,A:0」を選択し SET ボタンを押します。
- 4) 選択した項目にアンダーバーが表示されツマミを回すとIN点を個別に設定でき SET ボタンを押すと決定されま
す。

注) OUTPOINTの設定方法は網掛け文字の「IN」を「OUT」に読み替えてください。

(5) EDT (EDIT)「REPEAT」

選択したページのリピート再生の属性を設定するモードです。

メインメニューで「EDT」を選択し ボタンを押します。

ツマミと ボタンで「REPEAT」を決定します。

本体ディスプレイ

```
EDIT REPEAT
→OFF MODE1 MODE2
```

OFF: リピート再生の属性をOFFに設定します。

MODE1: 動画または音声の記録時間の長い(またはOUT点が遅い)ファイルに同期してリピート再生します。

このモードに設定すると再生時は常にリピート再生(ボタンがON)します。

MODE2: 動画と音声各々の記録時間(またはIN点からOUT点までの時間)でリピート再生します。

このモードに設定すると再生時は常にリピート再生(ボタンがON)します。

注)「MODE1,MODE2」に設定されていても ボタンのON/OFFはできます。

また、属性「OFF」の設定で ボタンをONした場合の再生は「MODE1」になります。

- 1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し ボタンを押すと選択した項目にアンダーバーが表示され決定されます。

(6) POS (POSITION)

選択したページの再生時の画像のポジションを設定するモードです。

メインメニューで「POS」を選択し ボタンを押します。

ツマミと ボタンで「FILL」を決定します。

本体ディスプレイ

```
POSITION FILL
→H:0 V:0
```

H:0・・・水平方向のポジションを2ドット毎に調整できます。

V:0・・・垂直方向のポジションを2ライン毎に調整できます。

- 1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し ボタンを押します。
- 2) 選択した項目にアンダーバーが表示されツマミを回すとポジションが変えられ ボタンを押すと決定されます。

注) KEY POSITIONの設定方法は網掛け文字の「FILL」を「KEY」に読み替えてください。

(7)PTN(PATTERN)

選択したページに内蔵パターンを発生させ記録するモードです。

メインメニューで「PTN」を選択し ボタンを押します。

本体ディスプレイ

PATTERN
→FUL SPL GRD MLK

FUL(FULL): フルフィールド75%カラーバー(FILL OUT)

横方向グラデーション(KEY OUT)

SPL(SPLIT): スプリットフィールド75%カラーバー(FILL OUT)

縦方向グラデーション(KEY OUT)

GRD(GRADATION): 横方向黒・白グラデーション(FILL OUT)

横ドット1%/横ライン1%(KEY OUT)

MLT(MULTI): マルチバースト(FILL OUT、KEY OUT)

- 1)ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し ボタンを押すと選択した項目にアンダーバーが表示され内蔵パターンが記録されます。

(8)BAK(HDD BACK UP)

全てのデータをHDDにバックアップするモードです。

メインメニューで「BAK」を選択し ボタンを押します。

本体ディスプレイ

HDD BACK UP
SURE? YES→NO

デフォルトの設定は「NO」です。

- 1)ツマミを回して「YES」を選択し ボタンを押すとバックアップを開始します。
バックアップ中は「SAVING」のメッセージが表示されます。
- 2)バックアップが終了するとメインメニューが表示されます。

(9)CMD(COMMAND)「CPY(COPY)」

ページ間コピーをするモードです。

メインメニューで「CMD」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「CPY」を決定します。

本体ディスプレイ

COMMAND COPY →FROM:1 TO:2 EXECUTE

例)1ページのファイルのデーターを2ページへコピーします。

- 1)ツマミを回して「FROM」を選択し _{SET} ボタンを押します。
- 2)ツマミを回してコピー元のページを「1」に設定し _{SET} ボタンを押します。
- 3)ツマミを回して「TO」を選択し _{SET} ボタンを押します。
- 4)ツマミを回してコピー先のページを「2」に設定し _{SET} ボタンを押します。
- 5)ツマミを回して「EXECUTE」を選択し _{SET} ボタンを押します。
- 6)メニュー下段に「SURE? YES→NO」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択し _{SET} ボタンを押すとコピーが開始されます。
注)「SURE? YES→NO」のデフォルトの設定は「NO」です。
コピー中は「COPYING」のメッセージが表示されます。
- 7)コピーが終了すると「COPY END」のメッセージが表示されます。
ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「COPY END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

(10)CMD(COMMAND)「DEL(DELETE)」

ページ内のファイルを削除するモードです。

メインメニューで「CMD」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「DEL」を決定します。

本体ディスプレイ

COMMAND DELETE →ALL FIL KEY AUDIO

ALL: ページ内の全ファイルを削除するモードです。

FIL: ページ内のFILLファイルを削除するモードです。

KEY: ページ内のKEYファイルを削除するモードです。

AUDIO: ページ内のAUDIOファイルを削除するモードです。

- 1)ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し _{SET} ボタンを押すと削除するモードが決定されます。
- 2)メニュー下段に「SURE? YES→NO」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択し _{SET} ボタンを押すと削除が開始されます。
注)「SURE? YES→NO」のデフォルトの設定は「NO」です。
削除中は「DELETING」のメッセージが表示されます。
- 3)削除が終了すると「DELETE END」のメッセージが表示されます。
ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「DELETE END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

(11) CMD (COMMAND)「FMT (FORMAT)」

HDDと全ページのファイルをフォーマットするモードです。

メインメニューで「CMD」を選択し ボタンを押します。

ツマミと ボタンで「FMT」を決定します。

本体ディスプレイ

COMMAND FORMAT SURE? YES→NO

デフォルトの設定は「NO」です。

1) ツマミを回して「YES」を選択し ボタンを押すとフォーマットを開始します。

フォーマット中は「FORMATTING」のメッセージが表示されます。

2) フォーマットが終了すると「FORMAT END」のメッセージが表示されます。

ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「FORMAT END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

注) フォーマットを行うと全てのファイルが消えてしまいます。その際は十分に注意してください。

(12) NET (NETWORK)

選択したページにネットワークから画像ファイルを受信するモードです。

メインメニューで「NET」を選択し ボタンを押します。

本体ディスプレイ

NETWORK →EXECUTE

1) 続けて ボタンを押すと「RECEIVE STANDBY」のメッセージが表示されFTP接続待ち受け状態になります。

2) ネットワークから画像ファイルの転送(FTP転送※)が開始されると、「RECEIVING」のメッセージが表示され、受信が終了すると「RECEIVE END」のメッセージが表示されます。

3) ボタンを押すとFTP接続は解除されます。

※ FTP転送は、P.22を参照してください。

(13) CNF (CONFIGURATION)「SYS (SYSTEM)」

リモートチェンジ入力のON/OFF、ライトプロテクトのON/OFF等をするモードです。

メインメニューで「CNF」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「SYS」を決定します。

本体ディスプレイ

```
CONFIG SYS
→RMT:ON PRT:ON
```

RMT:ON/OFF・・・「ON」でリモートチェンジ入力を有効にします。

PRT:ON/OFF・・・「ON」でライトプロテクトモードにします。

- 1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し _{SET} ボタンを押すと選択した項目にアンダーバーが表示されます。
- 2) ツマミを回して「ON/OFF」を選択し _{SET} ボタンを押すと決定されます。

(14) CNF (CONFIGURATION)「NET (NETWORK)」

IPアドレスの設定、GWアドレスの設定、BASEタイプの選択、等をするモードです。

メインメニューで「CNF」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「NET」を決定します。

本体ディスプレイ

```
CONFIG NET
→IP GW BS
```

IP: ネットワーク管理者から割り当てられたIP(インターネットプロトコル)アドレスを設定するモードです。

GW: デフォルトゲートウェイのアドレスを設定するモードです。

ゲートウェイを使用しない場合は「0,0,0」を設定します。

BS: BASEタイプを選択するモードです。(AUTO/10BASE/100BASE)

- 1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し _{SET} ボタンを押します。
- 2) 「IP」または「GW」を選択した場合は、ツマミと _{SET} ボタンでアドレスを設定していき、
_{MENU} ボタンでモードを抜けます。
- 3) 「BS」を選択した場合はツマミと _{SET} ボタンでBASEタイプを決定します。

(15) CNF (CONFIGURATION)「GEN (GENLOCK TIMING)」

システムに合わせてゲンロックタイミングを調整するモードです。

メインメニューで「CNF」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「GEN」を決定します。

本体ディスプレイ

CONFIG GEN →H:0 V:0

H:0・・・水平方向のタイミングを1ドット毎に調整できます。

V:0・・・垂直方向のタイミングを1ライン毎に調整できます。

1) ツマミを回してメニュー下段の項目を選択し _{SET} ボタンを押します。

2) 選択した項目にアンダーバーが表示されツマミを回すとタイミングが変えられ _{SET} ボタンを押すと決定されます。

(16) CNF (CONFIGURATION)「RD (READ MODE)」

電源起動時に読み出すページを設定するモードです。

メインメニューで「CNF」を選択し _{SET} ボタンを押します。

ツマミと _{SET} ボタンで「RD」を決定します。

本体ディスプレイ

CONFIG RD →SEND MODE:OFF

SEND MODE:OFF/1~12・・・「OFF」: 前回終了時の設定でページを読み出します。

「1~12」: 任意のページを読み出します。

1) _{SET} ボタンを押します。

2) 項目にアンダーバーが表示されツマミを回すと電源起動時に読み出すページが設定され

_{SET} ボタンを押すと決定されます。

4. 基本操作例

1ページにFILLとKEYの動画と音声を記録し、再生します。

(1) 正面パネルのLOCKスイッチを下側(LOCK OFF)にし、ツマミと各ボタンを有効にします。

(2)  ボタンを押して1ページを選択します。

・動画と音声の記録

(3)  ボタンを押してメインメニューに入ります。

本体ディスプレイ

```
→STW MWV EDT POS PTN BAK
  CMD NET CNF
```

(4) ツマミを回して「MWV(MOVIE WRITE)」を選択し  ボタンを押してライトモードに入ります。

本体ディスプレイ

```
MOVIE WRITE
→FKA F+A KEY AUDIO
```

(5) ツマミを回して「FKA(FILL+KEY+AUDIO)」を選択し  ボタンを押します。

 ボタンが点滅し記録待ち状態になります。

(6)  ボタンを押すと記録を開始し、もう一度押すと終了します。

記録中  ボタンは点灯し、終了すると消灯します。

・動画と音声の再生

(7)  ボタンを押します。記録された動画と音声が出始めます。

(8)  ボタンを押すと再生されます。再生中  ボタンは点灯します。

・HDDへバックアップ

(9)  ボタンを押してメインメニューに戻ります。

本体ディスプレイ

```
→STW MWV EDT POS PTN BAK
  CMD NET CNF
```

(10) ツマミを回して「BAK(HDD BACK UP)」を選択し  ボタンを押してバックアップモードに入ります。

本体ディスプレイ

```
HDD BACK UP
SURE? YES→NO
```

- (11)「SURE?」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択し  ボタンを押すとバックアップを開始します。バックアップ中は「SAVING」のメッセージが表示されます。

本体ディスプレイ

HDD BACK UP SAVING

- (12)バックアップが終了すると「SAVE END」のメッセージが表示されます。

ツマミを回すか、どれかボタンを押すと「SAVE END」のメッセージは消え、メインメニューが表示されます。

本体ディスプレイ

→STW MW ED POS PTN BAK CMD NET CNF

・本体電源の再起動

- (13)本体電源スイッチをOFFします。

- (14)本体電源スイッチをONします。POWERランプが点灯し、本体ディスプレイに「LOADING」のメッセージと「カウントダウンの数値」が表示されます。

本体ディスプレイ

LOADING 999

本体が立ち上がると前回終了時またはリードモード※の設定でボタンが点灯します。

※リードモードの詳細は「CNF (CONFIGURATION)」「RD (READ MODE) 」（P.17）を参照してください。

・再度動画と音声の再生

- (15)本体が立ち上がったら、 ボタンを押します。記録された動画と音声が出しされます。

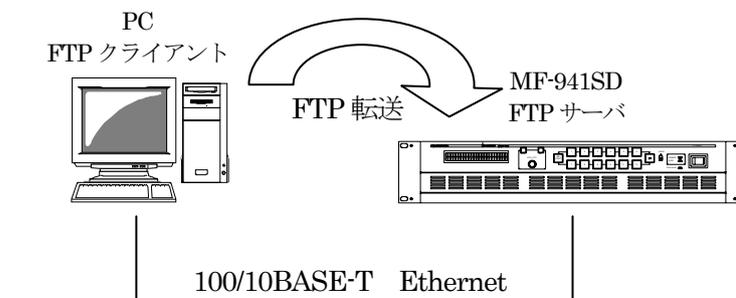
- (16) ボタンを押すと再生されます。再生中  ボタンは点灯します。

5. FTP転送

1. 概要

TCP/IPネットワークに接続されたMF-941SDのFTPサーバ機能を使用して、PC等の作画機で作成したTIFF形式の画像ファイルをFTPクライアントからFTPプロトコルを使用してMF-941SDに静止画、または動画として転送できます。

2. 接続



3. ネットワーク設定

コンフィグレーションモードでネットワークを選択し、ネットワーク管理者から割り当てられたアドレスを設定します。

- 1) MENU ボタンを押してメインメニューに入ります。
- 2) ツマミを回して「CNF」を選択し SET ボタンを押してコンフィグレーションモードに入ります。
- 3) ツマミを回して「NET」を選択し SET ボタンを押します。

本体ディスプレイ



IP: ネットワーク管理者から割り当てられたIP(インターネットプロトコル)アドレスを設定するモードです。

GW: デフォルトゲートウェイのアドレスを設定するモードです。

ゲートウェイを使用しない場合は「0,0,0,0」を設定します。

BS: BASEタイプを選択するモードです。(AUTO/10BASE/100BASE)

- 4) ツマミを回して「BS」を選択し SET ボタンを押します。
- 5) ツマミを回して「BASEタイプ」を選択し SET ボタンを押します。
- 6) MENU ボタンを押して階層を上がります。
- 7) ツマミを回して「IP」を選択し SET ボタンを押します。
- 8) ツマミと SET ボタンでアドレスを設定していき MENU ボタンを押して階層を上がります。
- 9) ツマミを回して「GW」を選択し SET ボタンを押します。
- 10) ツマミと SET ボタンでアドレスを設定していき MENU ボタンを押していきモードを抜けます。
- 11) MF-941SDの電源を立ち上げなおすことにより各アドレスが反映されます。

PC側のネットワーク設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

4. ネットワーク接続の確認

MF-941SDとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。ここでは仮にMF-941SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

MF-941SDの電源が入っていることを確認してください。

・Windowsの場合

スタート→プログラム→MS-DOSプロンプトを起動します。

そこから“ping 192.168.1.10”を入力し以下のようなメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:\>ping 192.168. 1.10

Pinging 192.168. 1.10 with 32 bytes of data :

Reply from 192.168. 1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128

C:\>
```

“Reply from …”と表示されればOKですが、“Request time out”のメッセージが表示された場合

PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、MF-941SDおよびPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

5. 転送ファイル仕様

ネットワークモードの実行※でファイルの受信を行います。ファイルは先頭フレームから転送した順番に保存されます。

※ネットワークモードの実行は「NET (NETWORK)」(P.15)を参照してください。

・TIFFファイル仕様

画像サイズ	720 × 487
フォーマット	Intel (IBM) または Motorola (Macintosh) 形式
圧縮方式	非圧縮
カラー	RGBまたはRGB α 各8ビット
拡張子	TIF

注) 画像サイズが720x487より小さい画像の場合は周囲が黒に、はみ出た場合は画像が切り捨てられます。

6. FTP 転送操作手順(例)

FTPを使用してファイルの転送を行います。PCクライアントはWindows PCを使用します。
ここでは仮にMF-941SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

(1) MF-941SD受信準備

ネットワークモードの実行でFTP接続の待ち受けになります。この状態でFTPクライアントからの接続ができます。

- 1) 登録するページ(1 ~ 12)を選択します。
- 2) MENU ボタンを押してメインメニューに入ります。
- 3) ツマミを回して「NET」を選択し SET ボタンを押してネットワークモードに入ります。

本体ディスプレイ



- 4) 続けて SET ボタンを押すと「RECEIVE STANDBY」のメッセージが表示されFTP接続待ち受け状態になります。
 MENU ボタンを押すとクライアントとの接続は解除されます。

(2) PCクライアントからの転送

- 1) 前ページの「5.転送ファイル仕様」を参照し転送用の画像を用意します。
- 2) MF-941SD側でネットワークモードを実行し、FTP転送可能な状態にします。
- 3) Windowsのスタートボタン→プログラム→MS-DOSプロンプトを起動します。
- 4) MS-DOSプロンプトから“ftp”コマンドを入力します。
“ftp>”が表示されます。
- 5) “open 192.168.1.10”を入力します。
ユーザー名とパスワードは特に指定せず、そのままエンターを押します。
以上が正常に終了すると下の画面になりMF-941SDのFTPサーバへのログインが完了します。

```
C:\>ftp
ftp>open 192.168.1.10
Connected to 192.168.1.10
220 MF-941SD FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx(none)):USER
331 Password required
Password:xxxx
230 Logged in
ftp> |
```

6) “put”コマンドで転送元ファイルを指定して転送します。

[書式]put ファイル名…ファイル名はフルパスで指定するか、ftpコマンドを入力したフォルダ内のTIFFファイルを指定します。

転送が正常に終了すると以下のメッセージが表示されます。

MF-941SDの画面に転送した画像が表示され、選択しているページに保存されます。

保存先にファイルが存在する場合、上書きを行うので注意してください。

```
ftp>binary
200 Command successful
ftp>put xxx.tif
200 PORT Command successful.
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp : xxx bytes sent in x.xx Seconds xx.xxKbytes/sec.
ftp>
```

転送するファイルが動画の場合は続けて“put”コマンドを使用します。

転送を終了させる場合は“close”コマンドで接続を終了させます。

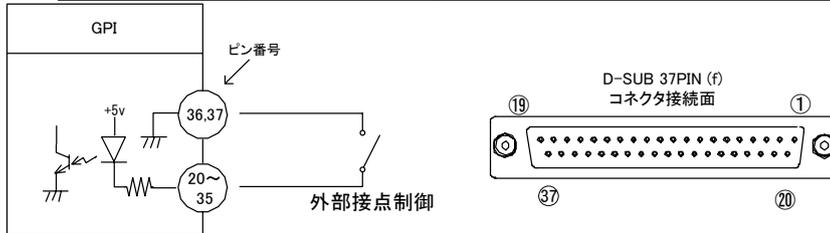
6. 外部インターフェース

1. GPI/TALLY コネクター

(1) GPI仕様

1) ピンアサイン

ピン番号	信号名	機能
20~35	接点信号入力	ファイル選択、再生、記録等
36,37	GND	



注) TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

図5-1 GPI仕様

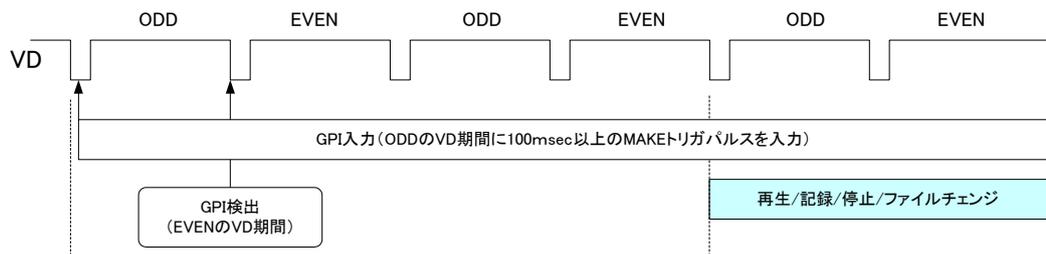
2) 機能

GPI		
ピン番号	信号名	機能
20~31	FILE1~12	送出ファイル番号 (1~12) **1
32	PLAY/WRITE	動画、音声ファイルの再生/記録 **1
33	STOP	動画、音声ファイルの停止 **1 **2
34、35	NC	未使用
36、37	GND	グラウンド

**1 100m秒以上の接点パルスで動作します。同時に複数のパルスを検出した際は若い番号が優先されます。

**2 リピート指定していないファイルは「STOP」コマンドが無くても自動的に停止します。

3) タイミングチャート



(2) TALLY仕様

1) ピンアサイン

ピン番号	信号名	機能
1~16	接点信号出力	送出ファイル番号のタリ一等
17~19	コモン	



注) 接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

図5-2 TALLY仕様

2) 機能

TALLY		
ピン番号	信号名	機能
1~12	FILE1~12	送出ファイル番号 (1~12) **1 **2
13	PLAY/REC	動画、音声の再生/記録中 CLOSE **2
14	NC	未使用
15	FAN ALARM	動作異常 CLOSE **2
16	POWER ALARM	電源停止 CLOSE **2
17~19	コモン	コモン

**1 選択されている送出ファイルに対応した接点がCLOSEします。

**2 オルタネイト接点出力です。

2. RS-422 コネクタ

外部制御用シリアルポートです。編集機等での外部からの制御に使用します。

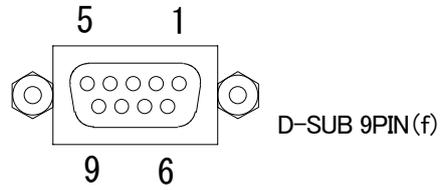


図5-3 RS-422コネクタ

ピン番号	信号名	入出力
1	—	—
2	TXD-	出力
3	RXD+	入力
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	TXD+	出力
8	RXD-	入力
9	GND	—

3. 10/100BASE コネクタ

LAN制御用コネクタです。ネットワークでのファイル転送に使用します。

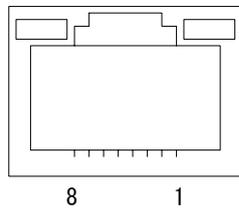


図5-4 10/100BASEコネクタ

ピン番号	信号名	入出力
1	TX+	出力
2	TX-	出力
3	RX+	入力
4	—	—
5	—	—
6	RX-	入力
7	—	—
8	—	—

7. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

- 原因**
- ・本体正面の電源スイッチはON側になっていますか？
 - ・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？
 - ・本体のヒューズは切れていませんか？
- ヒューズの交換方法は次ページの保守・点検を参照してください。
もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば、直ちに使用を中止し
下記の連絡先にご連絡ください。

現象 FAN ALMランプが点滅する！

- 原因**
- ・FANの吹き出し口から異音がしていませんか？
- FANの吹き出し口に埃などが目詰まりしている場合、本体の電源をOFFし、清掃してください。
- 異音がしている場合はFANの交換が必要です。下記の連絡先にご連絡ください。
- ・FANが停止していませんか？
- 停止している場合はFANの交換が必要です。下記の連絡先にご連絡ください。

現象 出力映像が乱れる！

- 原因**
- ・REF信号は接続されていますか？
- ブリッジ接続されている場合は、75Ω 終端の確認をしてください。
- ブリッジ接続しない場合は、75Ω 終端スイッチをON(上側)にしてください。

現象 正面パネルのボタンを押しても反応しない！

- 原因**
- ・LOCKスイッチの設定がLOCK解除側になっていますか？

8. 保守・点検

1. 電源ヒューズの交換方法

本体の電源ヒューズが切れた場合の交換方法です。

ヒューズ交換の際は、危険ですので必ず電源OFFの状態で作業してください。

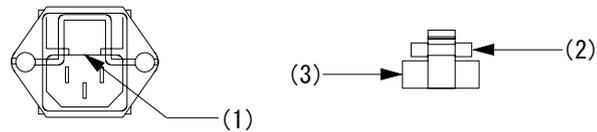


図8-1 電源ヒューズ

- (1) 本体の電源をOFFにします。
- (2) 電源ケーブルを取り外します。
- (3) (1)の凹部分をマイナスドライバーなどでヒューズボックスを手前に引き出します。
- (4) (2)の部分が電源ヒューズです。断線を確認して下さい。
- (5) 断線している場合は、(3)の予備ヒューズと交換して下さい。
- (6) 引き出したヒューズボックスを元の位置に差し込みます。

注)ヒューズは規定された容量(125V/4A)を実装してください。

。

9. 仕様

1. 定格

入力信号

- SDI IN KEY、FILL
- AES/EBU IN
CH1/2、CH3/4、CH5/6、CH7/8
- REF IN

SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}/75Ω、BNC 各1系統
SMPTE 276M準拠、0.3-3V_{p-p}/75Ω、BNC 各1系統

BBS、0.43V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統(ブリッジ可)
または3値SYNC、0.6V_{p-p}/75Ω、BNC
※3値SYNCとBBSは自動切り替え

出力信号

- SDI OUT KEY、FILL
- AES/EBU OUT
CH1/2、CH3/4、CH5/6、CH7/8

SMPTE259M-C準拠、0.8V_{p-p}±10%/75Ω、BNC 各2系統
SMPTE 276M準拠、1V_{p-p}±10%/75Ω、BNC 各1系統

外部 I/F

- GPI/TALLY

Dsub-37(f) インチネジ 1系統
接点入力×16 ※1、出力×16 ※2

- PANEL
- RS-422
- 10/100BASE
プロトコル

2V_{p-p}/75Ω、BNC 1系統
Dsub-9(f) インチネジ 1系統 ※APC制御用(オプション)
RJ45 1系統

TCP/IP

FTP(ファイル転送)

※1 5VTTL信号で制御する際は吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。

※2 接点の絶対最大定格は60V、300mA(POWER ALARM、FAN ALARMのみ200mA)です。

映像フォーマット

525i/59.94

画像フォーマット

非圧縮8bit

音声フォーマット

AES/EBUデジタルオーディオ 非圧縮 48kHz/20bit

ファイル枚数

音声付の動画/静止画 合計1812フレーム

※動画の記録時間により枚数は可変します。動画1秒30フレーム分使用します。

※静止画にも音声ファイルを添付することができます。音声ファイルの記録時間は合計で約10分です。

読み出し時間

約0.2秒以内

バックアップ時間

最大約5分

※ファイルの書き込み時間はメモリから内部のHDDへ転送するため、5分程度要します。

本体起動時間

最大約5分

※起動時間は電源起動時に内部のHDDからメモリへ転送するため、5分程度要します。

表示位置調整範囲

縦(V)

±480ラインフィールド単位で1ラインごと

横(H)

±720ドット 2ドットごと

出力位相調整範囲

縦(V)

±525ラインフィールド単位で1ラインごと

横(H)

±856ドット 1ドットごと

電源

AC100~240V±10%、50/60Hz

消費電力

120VA

外形寸法

420W×88H(2U)×550D (突起部含まず)

重量

約17kg

使用温度

0~40°C

2. 性能

入力特性

• SDI IN KEY、FILL	
分解能	8bit
サンプリング周波数	13.5MHz
イコライザー特性	300m/5C2V
反射減衰量	5 MHz~270MHz 、15 dB 以上

• AES/EBU IN	
CH1/2、CH3/4、CH5/6、CH7/8	
分解能	20bit
サンプリング周波数	48kHz
信号振幅	0.3-3Vp-p/75Ω

出力特性

• SDI OUT KEY、FILL	
分解能	8bit
サンプリング周波数	13.5MHz
信号振幅	0.8Vp-p±10%/75Ω
反射減衰量	SD:5 MHz~270MHz 、15 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	0.4nS~1.5nS(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	0.2UI

• AES/EBU OUT	
CH1/2、CH3/4、CH5/6、CH7/8	
分解能	20bit
サンプリング周波数	48kHz
信号振幅	1Vp-p±10%/75Ω

GPI/TALLY

• 接点入力	12mA 最大定格
• 接点出力	60V/300mA 最大定格

PANEL	100m/3C2V
-------	-----------

御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。